

平成28年度第3回 読書のまち八王子推進連絡会議 会議録

日時 平成28年10月20日（木） 午後6時00分～7時50分

場所 八王子市中央図書館 3階 会議室

議題 (1) 平成27年度 図書館利用満足度調査結果について

報告事項 (1) 平成27年度図書館事業決算報告について
(2) 図書館夏休みの企画事業「夏休み図書館へ行こう！」実施報告
(3) 読書感想文・読書感想画コンクール応募状況について
(4) 図書館まっりの実施について

その他

出席者氏名

山崎 久道	三浦 眞一	中川 律子	中野 正隆
半田 あつ子	三田村 裕	鷺林 弓子	坂本 博美
児玉 和恵	志田原 節子	大塚 英生	増田 包子
岩田 充	中野目 泰明	中村 東洋治	

欠席者氏名

平塚 裕之

事務局 伊比図書館部長、中村中央図書館長、新堀生涯学習センター図書館長
村田南大沢図書館長、福田川口図書館長

中央図書館：樋口主査

生涯学習センター図書館：高橋主査、石川主査

川口図書館：藤本主査

南大沢図書館：山中主査

傍聴人 0 人

議題（１）平成２７年度 図書館利用満足度調査結果について

《事務局より報告》

平成２８年３月に、４館２分室で各館１００名の利用者に対し実施したアンケートを基に説明が行われた。

アンケートは

- １．借りられる冊数
- ２．借りられる期間
- ３．予約できる冊数
- ４．開館時間
- ５．図書館内のわかりやすさ
- ６．ホームページの使いやすさ
- ７．快適さ
- ８．職員の対応
- ９．図書館の資料
- １０．自主事業について
- １１．全体の満足度

の１１項目について重要度と満足度をそれぞれ４段階でアンケートを行った。

《座長より》

満足度と重要度の評価について、昨年度からの改善がされているのか。高い評価をされている項目はさらに上、あるいは維持されているのか。また、各館別、年代別の集計もあるので、色々な観点からご意見ご質問をいただければと思います。

《メンバーからの質問》

- ①年代別の回答の動向が分かる表はないのか。
- ②自主事業について各館で熱心に取り組んでいると聞いているが、この項目について重要度が低い結果となったことについて、図書館として、自主事業をもっと市民への周知していく必要があるのでは。
- ③自主事業について、費用的にはどの程度かかっているのか。
- ④資料に対する満足度が低いですが、蔵書冊数は三多摩で一番多い。満足度は資料数に対するものではなく、利用者のニーズに合っていない資料を多く所蔵しているということなのか。
- ⑤人気本については、取り置き期間や貸出期間を短くし、回転率を上げるなどの対策は取れないのか。
- ⑥「快適さ」の項目について、快適と感じるのは人それぞれだと思うが、この項目の評価を上げるにはどういった取り組みを図書館は行っていこうと考えているのか。

《事務局からの回答》

- ①年代別の表はありますが、今回は添付していないので、次回お配りします。
- ②自主事業は、幼児から中学生向けが主になっており、幅広い年齢層へのアンケートになると重要性が低くなってしまおうと考えています。それと同時に、大人向けの自主事業が弱いことも見えてきていると感じています。また、PR不足も原因のひとつだと思っていますので、周知方法についてもホームページに掲載したり、広報に掲載するだけではなく、各施設へ直接チラシ等を持ち込む等、もう一步踏み込んだ周知方法の改善を検討していきたいと考えています。
- ③自主事業の費用については、予算措置もされていないので、ほとんどが職員の人件費のみです。
- ④選書は、各館で行っていますが、各館の選書担当が偏った蔵書にならないよう、また、長く読み続けられるような本を、色々な分野に対して限られた予算の中で購入しています。人気本は何百件も予約が入ることが多いことから、複数冊購入し回転率を上げていますが、利用者の方が読めるまでに時間がかかる状況があることは承知しています。しかし、図書館としては、複数購入し、人気が過ぎてしまうと借りられなくなる本については、蔵書スペースの関係からリサイクルに回すことになるため、そのあたりを考慮した購入冊数に努めています。また、蔵書冊数は三多摩で一番多い状況ですが、市民一人当たりの蔵書冊数にすると、最下位になってしまいます。それに加え、資料購入費も削減されているため、読みたい本がなかなか借りることができず、満足度を下げていると考えています。
- ⑤図書館が4館2分室しかなく、遠方より来館される方もいる中で、週に1度しか来館出来ない方も少なくないと認識しています。そういった方に対して、受け取れる機会を2回は確保できるように2週間と定めています。現状では確保期間や貸出期間の短縮は考えていません。
- ⑥メンバーの方々にご意見をいただき、それを基に毎年アンケート内容を見直しています。今回は自由記述欄を設けたことと、「快適さ」については、日頃から利用されている方がどう感じているのか、また、図書館側で何が出来るのかを知るために追加した項目です。今回のアンケートにも様々なご意見があるので、それら意見を参考に、より良いサービスの提供ができるよう努めていきたいと考えています。

《メンバーからの意見》

- 重要度と満足度の関係を縦軸と横軸で表し、重要で満足してる項目、重要ではないが満足している項目、重要だが満足していない項目、重要ではなく満足もしていない項目で分けた分布図を作成すると分かりやすい。そして、重要だが満足していない範囲に分布している項目について策を講じてはどうか。

○どの年代が、どの項目を重要とあって、満足とあっているのか表せないのか。それが分かってくると図書館がどの年代に、どんなコンテンツを提供すればいいのか見えてくるのでは。

○大学図書館と連携して、大人向けの自主事業（講演会）みたいなことも、大学が多くある八王子市ならできるとあうるので検討していただきたい。

○国際基督教大学の図書館では、何年間も借りられていない本だけを集めた展示を行って、貸し出しが増えた事例があつた。借りられなくなった本を、いかに手に取ってもらうか、図書館側で工夫して考える必要があるのでは。

《座長より》

私からの提案ですが、今日配られて直ぐには、なかなかご意見ご質問が出ないので、一定期間事務局でご意見ご質問を受け付けを設けてもらえないか。

《事務局より》

それでは、11月中にファックスでもメールでも電話でも構いませんので、ご意見ご質問を事務局までお願いいたします。

報告事項 （1）平成27年度図書館事業決算報告について

《事務局より報告》

- ・教育予算の決算状況
 - ・過去5年間の市内図書館の利用状況
 - ・過去5年間のホームページの閲覧件数及び時間帯別の利用者数
- 以上について報告を行った。

《メンバーからの質問》

- ①ホームページでアクセス数が2番目に多い「かんたん蔵書検索」について、利用者がどの様な資料を検索しているのかわかるのか。

《事務局からの回答》

- ①検索内容までは把握できる仕組みにはなっていません。

《メンバーからの意見》

特になし

報告事項 （2）図書館夏休みの企画事業「夏休み図書館へ行こう！」実施報告

《事務局より報告》

図書館広報紙「らいぶらりい」No.128号を基に報告を行った。

《メンバーからの質問・意見》

特になし。

《事務局より報告》

図書館広報紙「らいぶらりい」No.128号に南大沢図書館が開館20周年を迎えた記事の掲載もあり、開館当初と現在の比較もしているのでは、是非ご覧になってください。

報告事項 (3) 読書感想文・読書感想画コンクール応募状況について

《事務局より報告》

平成28年度に応募者数について

読書感想画

小学校1・2・3年の部	519点	(昨年672点)
小学校4・5・6年の部	261点	(昨年129点)
中学校の部	631点	(昨年414点)
合計	1,411点	(昨年1,215点)

読書感想文

小学校1・2・3年の部	1,015点	(昨年1,038点)
小学校4・5・6年の部	1,721点	(昨年1,849点)
中学校の部	1,612点	(昨年1,296点)
合計	4,348点	(昨年4,183点)

となっています。

今後の予定としては、12月中に審査結果を出し、平成29年2月4日に学園都市センター内イベントホールで表彰式を予定しています。また、例年どおり中学生の上位入賞者は台湾の高雄市へ派遣を予定しています。

《メンバーからの質問》

- ①どちらも小学生の応募が減っているのは児童数が減っているのが原因なのか。
- ②中学生の不読率の問題が一般的に言われている中で、中学生の応募数の伸びを見ると本を読んでいるように思われるが。

《事務局からの回答》

- ①児童数については、それほど大きな変化はありません。
- ②中学生の応募数の伸びは、個人での申し込みではなく、学校単位での申し込みが多かったためと考えています。図書館側でも直接学校へ訪問し、PRしたことにより、学校として取り組んでいただいたところが多く、一般的に言われている不読率とは一致しないと思っています。また、学校としても様々なコンクールがある中で、どのコンクールに学校として取り組むのかは様々なので、応募数については今後も変動があるかと思われます。

《メンバーからの意見》

- 今まで受賞した子どもについて、その後の進んでいる進路や読書活動等の追跡調査みたいなものも考えていただきたい。
- 審査をやらせていただいている立場からですが、応募されている生徒は実に様々な本を読んでいる。どのような本を呼んで応募したのか統計データが作れると非常に価値のあるデータができると思うので考えていただきたい。

報告事項（４）図書館まっりの実施について

《事務局より報告》

平成28年10月27日から平成28年11月6日まで行われる予定の図書館まっりの実施について報告を行った。

《メンバーからの質問》

- ①「図書館まっり」と言っても、図書館によって違う。中央図書館以外はリサイクルぐらいしか行っていないのでは。イベントや展示を各館に巡回できないのか。感想画の展示も各館で行えないのか。
- ②施設を使用すると使用料が発生して予算の問題が出てくると思うが、市民センター祭りに組み込んで、費用がかからなくする手法も考えられるのではないか。

《事務局からの回答》

- ①施設の問題もあり、イベントを行えるスペースが中央図書館以外は難しい面があります。ボランティア団体との協働により、マンパワーだけで行っている企画事業なので施設を借りて行うことも難しいと思います。また、感想画の展示についてもかなりのスペースが必要なため、図書館での展示は難しい状況です。
- ②市民センター祭りでは、南大沢図書館・川口図書館で取り組んでいます。図書館まっりとしての取り組みではないので、今回の報告には入っていません。

《メンバーからの意見》

- 館ごとに行えるようなイベントも今後は考えていただきたい。展示についても規模を小さくして行えるような手法も検討いただきたい。
- 「市民センター祭り」として行っている図書館の事業についても、もっと情報発信していただきたい。リサイクルの他に「図書館まっり」として中央図書館以外の記載がないと、他の図書館では何も行っていないように見えてしまう。
- まだまだ工夫の余地があると思うので、更なる検討を行っていただきたい。

その他

《メンバーからの質問》

- ①満足度調査について、図書館ごとの集計が出ているので、それについての各館の意見を次回の会議のときにお聞かせいただけないか。
- ②子どもが図書館へ勉強をしに行ったが勉強するスペースが無く、それ以来図書館へ行くことが無くなってしまったので、図書館は勉強していい場所なのか、そうでないのかを教えていただきたい。

《事務局からの回答》

- ①次回の会議でアンケート結果を受けて、各館の感想や意見を出させていただきます。
- ②勉強がダメな分けではありません。しかし、スペースの問題で、中央図書館以外では自習をする勉強スペースを確保することが出来ない状況となっていることから、各館、閲覧スペースのみ用意されているのが現状です。中央図書館では自習室が28席あり、土日と夏休み期間は視聴覚室を開放して40席の自習スペースを用意しています。また、生涯学習センター図書館・南大沢図書館・川口図書館では、併設している学習支援センターにおいて、土日と春・夏・冬休み期間にスペースが空いていれば、学生用の自習スペースとして開放しています。

次回会議について、平成29年1月19日（木）、18時から
八王子市中央図書館 3階 会議室
で行う予定とする。
また、会議終了後に懇親会を予定しています。